

## 6 飼料作物

### ①とうもろこし

#### 【栽培暦】

作物名	作型	栽培暦(月)												目標収量 (kg/10a)		
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12			
とうもろこし	普通栽培	(早中晩生種)				◆	○	—	—	×	—	×				4,000 ~6,000
		(早中晩生種)				◆	○	—	—	×	—	×				
		(早中晩生種)						◆	○	—	—	×	—	×		
		(早中晩生種)							○	—	—	×	—	×		

凡例:○播種 △仮植 ◎定植 ×-×収穫 ◆基肥 ◇追肥

#### 【施肥基準】

作型	栽植様式		N	P2O5	K2O	施肥の留意点
普通栽培	点播 畦幅 70~80cm 株間15~ 24cm は種量2.5~ 3.0kg/10a	基肥	20	18	20	炭カル 100kg/10a 基肥施用量は、基準値から堆肥の有効成分量を減じて施用する。
		追肥	0	0	0	
		合計	20	18	20	

#### 【土壌・施肥管理】

##### 1 土づくり

ア 堆肥を約4トン/10a施用し、施用後は速やかに耕起する。

##### 2 施肥

ア 施肥量は、堆肥の有効成分等を考慮して施肥基準値から減じて施用する。

イ ただし、堆肥を連年施用した場合は、窒素が過剰供給となる場合があるので、土壌・飼料分析などを行い、堆肥の施用や施肥を中止するか減量する。

ウ 水田転換畑1年目の施肥量は、3要素とも20~30%減らす。

##### 3 その他

ア 水田転換畑では、地下水位20cm以下になるよう排水する。

## ② ソルガム

### 【栽培暦】

作物名	作型	栽培暦(月)												目標収量 (kg/10a)	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
ソルガム	普通栽培	(子実型)					◆	○	—	×					5,000 ~8,000
		(兼用型)					◆	○	—	×	—	×			
		(ソルゴー型)					◆	○	—	×	—	×			
		(スーダン型)					◆	○	—	×	—	×			
		(スーダングラス)					◆	○	—	×	—	×			

凡例: ○播種 △仮植 ◎定植 ×—×収穫 ◆基肥 ◇追肥

### 【土壌・施肥管理】

作型	栽植様式		N	P2O5	K2O	施肥の留意点
普通栽培	条播 は種量1.5~ 2.5kg/10a 散播 全面播 は種量2.0~ 3.0kg/10a	基肥	20	18	20	炭カル 100kg/10a 基肥施用量は、基準値から堆肥の有効成分量を減じて施用する。 2回刈りは、窒素成分で2kg/10aを追肥 スーダン型、スーダングラスの施肥量は、25%減量
		追肥	0	0	0	
		合計	20	18	20	

### 【土壌・施肥管理】

#### 1 土づくり

ア 堆肥を約4トン/10a施用し、施用後は速やかに耕起する。

#### 2 施肥

ア 施肥量は、堆肥の有効成分等を考慮して施肥基準値から減じて施用する。

イ ただし、堆肥を連年施用した場合は、窒素が過剰供給となる場合があるので、土壌・飼料分析などを行い、堆肥の施用や施肥を中止するか減量する。

ウ 水田転換畑1年目の施肥量は、3要素とも20~30%減らす。

#### 3 その他

ア 水田転換畑では、地下水位20cm以下になるよう排水する。

### ③ 牧草類：イタリアンライグラス

#### 【栽培暦】

作物名	作型	栽培暦(月)												目標収量 (kg/10a)
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
イタリアン ライグラス	普通栽培				◇					◆				5,000 ~7,000
					x-x					(短期利用)	○			
						◇	◇			◆				
						x	x	x		(長期利用)	○			

凡例：○播種 △仮植 ◎定植 ×-×収穫 ◆基肥 ◇追肥

#### 【施肥基準】

作型	栽植様式		N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	施肥の留意点
普通栽培	散播 播種量1.5~ 3.0kg/10a	基肥	11	10	11	炭カル 100kg/10a 基肥施用量は、基準値から堆肥の有効成分量を減じて施用する。 3回刈りとして、追肥2回
		追肥	4	0	4	
		合計	15	10	15	

#### 【土壌・施肥管理】

##### 1 土づくり

ア 堆肥を約4トン/10a施用し、施用後は速やかに耕起する。

##### 2 施肥

ア 施肥量は、堆肥の有効成分等を考慮して施肥基準値から減じて施用する。

イ ただし、堆肥を連年施用した場合は、窒素が過剰供給となる場合があるので、土壌・飼料分析などを行い、堆肥の施用や施肥を中止するか減量する。

ウ 水田転換畑1年目の施肥量は、3要素とも20~30%減らす。

エ 刈取るごとに、窒素、カリをそれぞれ2kgずつ追肥する。

##### 3 その他

ア 吸肥性が強いので、糞尿を多量施用した場合は土壌中に硝酸態窒素が蓄積するので、硝酸塩中毒に注意する。

## ④ 麦類：エン麦

### 【栽培暦】

作物名	作型	栽培暦(月)												目標収量 (kg/10a)				
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12					
エン麦	普通栽培 年内刈 (極早生)								◆	○								4,000 ~6,000
												◇						

凡例：○播種 △仮植 ◎定植 ×-×収穫 ◆基肥 ◇追肥

### 【土壌・施肥管理】

作型	栽植様式		N	P2O5	K2O	施肥の留意点
普通栽培	条播4.0~ 6.0kg/10a 散播6.0~ 8.0kg/10a	基肥	10	10	10	炭カル 100kg/10a 基肥施用量は、基準値から堆肥の有効成分量を減じて施用する。
		追肥	0	0	0	
		合計	10	10	10	

### 【施肥・土壌管理】

#### 1 土づくり

ア 堆肥を約4トン/10a施用し、施用後は速やかに耕起する。

#### 2 施肥

ア 施肥量は、堆肥の有効成分等を考慮して施肥基準値から減じて施用する。

イ ただし、堆肥を連年施用した場合は、窒素が過剰供給となる場合があるので、土壌・飼料分析などを行い、堆肥の施用や施肥を中止するか減量する。

ウ 水田転換畑1年目の施肥量は、3要素とも20~30%減らす。

#### 3 その他

ア 水田転換畑では、地下水位20cm以下になるよう排水する。

## ⑤ 飼料用イネ（WCS用イネ）

### 【栽培暦】

作物名	作型	栽培暦(月)												目標収量 (kg/10a)		
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12			
WCS用 イネ	移植栽培					◆	◇			◇						3,000 ~3,500
	湛水直播					○	○			◇			×	×		
	乾田直播				◆	○	○			◇			×	×		

凡例：○播種 △仮植 ◎定植 ×-×収穫 ◆基肥 ◇追肥

### 【施肥基準】

作型	栽植様式		N	P2O5	K2O	施肥の留意点
移植栽培	播種量 2.5~ 3.0kg/10a	基肥	7	7	7	堆肥 1トン/10a 石灰 100kg/10a
		追肥	3	0	3	
		合計	10	7	10	
湛水直播	播種量 3.0~ 3.5kg/10a	基肥	6	6	6	堆肥 1トン/10a 石灰 100kg/10a
		追肥	3	0	3	
		合計	9	6	9	
乾田直播	播種量 4.0~ 5.0kg/10a	基肥	7	7	7	堆肥 1トン/10a 石灰 100kg/10a
		追肥	3	0	3	
		合計	10	7	10	

### 【土壌・施肥管理】

#### 1 土づくり

- ア 堆肥は完熟堆肥の利用を前提に、1トン/10aを施用する。
- イ 未熟な堆肥の施用は、生育障害や出芽不良の原因となり、また過剰施用は病害虫の発生にもつながるので避ける。
- ウ 堆肥の施用時期については、一毛田では春耕起時に、麦との二毛作体系では麦作の際に施用することが望ましい。

#### 2 施肥

- ア 施肥量は、堆肥の有効成分等を考慮して施肥基準値から減じて施用する。
- イ 穂肥施用時期は、出穂前20~23日を目安とする。
  - 移植栽培  
5月中旬移植の場合、移植後40日前後に窒素成分で2kgの追肥を行う。
  - 湛水直播  
5月中旬播種の場合、7葉期頃に窒素成分で2kgの追肥を行う。
  - 乾田直播  
基肥は、緩効性肥料を利用する。  
普通化成肥料の場合は、基肥3、入水肥4に分けて施用する。

## ⑥ 飼料用米

### 【栽培暦】

作物名	作型	栽培暦(月)												目標収量 (kg/10a)
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
飼料用米	移植栽培				○	◆	—		◇		×			

凡例: ○播種 △仮植 ◎定植 ×—×収穫 ◆基肥 ◇追肥

### 【施肥基準】

作型	栽植様式		N	P2O5	K2O	施肥の留意点
移植栽培	播種量	基肥	7	7	7	堆肥 1t/10a
	2.5~	追肥	4	0	4	石灰 100kg/10a
	3.0kg/10a	合計	11	7	11	

### 【土壌・施肥管理】

#### 1 土づくり

堆肥を使用する場合、鶏ふんは化成肥料と同等に利用できる。

牛ふん堆肥1トン/10a施用するが、当該年度の効果は小さく、土づくりと考えて使用する。

#### 2 施肥

追肥(穂肥)は、出穂前23~20日に行う。